

彩小ふれあいだより

タグラグビー中国大会

平成23年1月25日

広島市立彩が丘小学校
校長 竹川 智子



「タグラグビー」あまり聞きなれないスポーツだと思います。新学習指導要領体育科高学年の指導事項に加わりました。腰に付けた2本のひらひらしたタグを、お互いに取ったり取られたりしながら、ラグビーボールを持ってコートを駆け回り、相手ゴールを目指します。攻めてくる相手を止めるのには、ボールを持っている人の腰に付いているタグを取ります。相手チームのゴールに走りこんで、そのボールを両手で置けば「トライ」で1点です。1チームの人数は5人。試合時間は前半7分後半7分。このようなスポーツです。広島では高須小が大会に参加してきました。今年、高須小から転勤してきた石田教頭先生が6年担任の元田先生と共に「タグラグビーに出よう!」と、6年生に募りました。女子4名男子11名が集まりました。放課後に10回程度の練習をして、2チーム「彩が丘グリーンファイターズ」と「彩が丘スターズ」が参加しました。2月12日(日)には、コカ・コーラウエスト広島総合グランドラグビー場で、広島県予選大会が開催され、「彩が丘スターズ」が3位入賞し、県代表に決定しました。中国大会は、1月16日『マイナス30度の寒気が日本列島を…』という天気予報の日、彩が丘にも10センチの積雪がありました。総合グランドラグビー場には、中国5県から大型バスで各県代表が集合していました。決勝は、山口市立良城小学校と岡山市立芳明小学校の対戦となり、良城小学校が2連覇を達成しました。彩が丘チームの予選リーグには、芳明小も入っているというきびしさがありましたが、彩小チームはタグラグビーの基本を忠実にこなし、前へ前へと試合運びをしました。グランド一杯使って走り、素早いパスワークで、空いているスペースに走り、チームワークの良さを発揮しました。子どもたち全員、雪の降りしきる中、よくがんばりました。素晴らしい経験になったことでしょう。応援する私も熱くなりました。皆さん、声援ありがとうございました。

よくがんばった「彩が丘スターズ」監督とコーチ、選手たち

